

# 平成27年度決算状況

詳 財政課 回 (32)6212

平成27年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。

また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。

今後もさらなる財政健全化に努めてまいります。

各会計の決算概要をお知らせします。



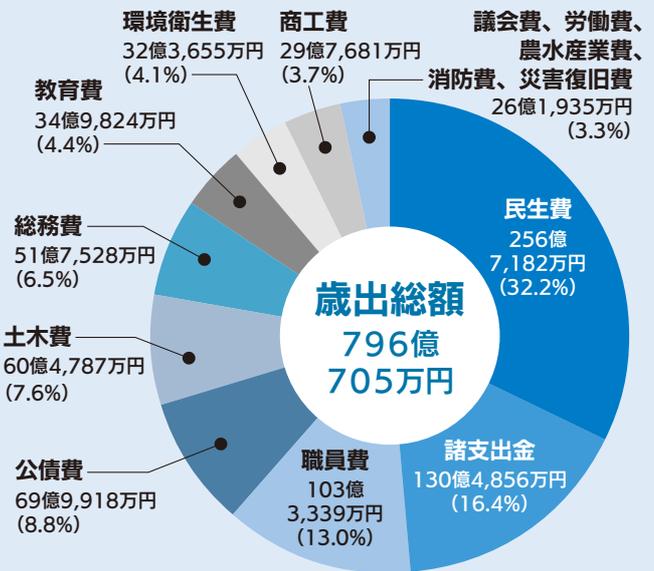
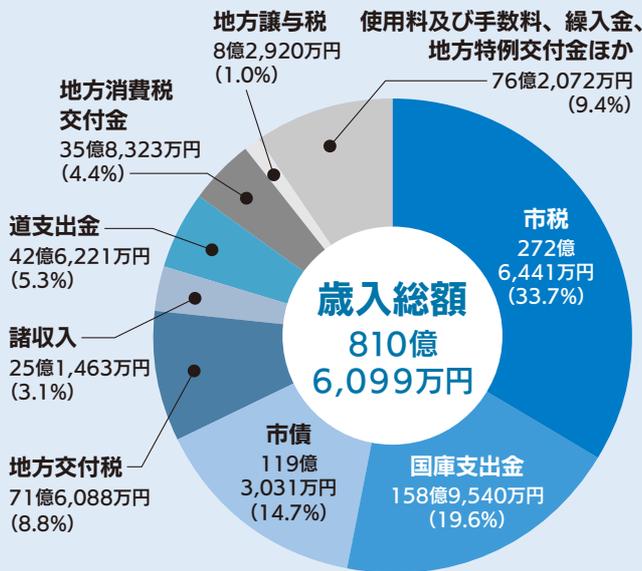
## 一般会計の決算状況

一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は810億6,099万円で、前年度に比べ41億213万円（5.3%）増加しました。歳出（年度中の支出）の総額は796億705万円で、前年度に比べ44億6,402万円（5.9%）増加し、差引額14億5,394万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち市税や諸収入などが減少したものの、第三セクター等改革推進債、消防庁舎整備事業債などの借入れにより市債が51億818万円（74.9%）増となったことや、地方消費税交付金が13億7,639万円（62.4%）増となったことによります。

歳出のうち、臨時事業費は総額228億5,399万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、消防庁舎建設や学校改修事業、緊急雇用創出事業などを実施しました。また、毎年度経常にかかる経費については、扶助費が増加しました。



## 市民1人当たりの決算額

■市税負担額 157,318円 (2,524円減少) ■使われた経費 459,339円 (26,587円増加)

### 主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 120,223円 (2,280円増加)
- 人件費 [職員の給与などに] 55,029円 (4,313円減少)
- 公債費 [借入金の返済に] 40,386円 (2,331円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに] 61,504円 (15,465円増加)

※金額は一般会計の決算額を平成28年3月31日現在人口173,308人で割ったもの（ ）は対前年比